

# 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム寿生の家

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）  
デイサービス

日時： R3年 8月 18日 書面会議

会場：

出席者  
(人数)

利用者代表	0人	有識者	2人
利用者家族	4人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
地域住民の代表	2人	出雲市職員	1人
その他（施設職員）			5人

## （報告事項）

### 1、利用者様状況報告（8月6日現在）

利用者数：桜棟9名 梅棟9名（男性3名 女性15名）

介護度分布：桜棟 要介護1：1名 2：4名 3：3名 4：0名 5：1名

梅棟 要介護1：2名 2：6名 3：0名 4：0名 5：1名

平均介護度：桜棟 2.6 梅棟 2.1 全体平均 2.3

平均年齢：桜棟 90.6歳 梅棟 88.6歳 全体 89.6歳（最高齢 103歳 最年少 71歳）

待機者：28名

入退所：7月20日 1名退所

7月21日 1名ショート入所

7月31日 1名ショート退所

8月3日 1名入所

在所期間：0ヶ月～14年10ヶ月

#### 1. 状況報告

##### ・新型コロナウイルス等感染対策について

面会について

7月初めまでは条件付きで居室にて10分程度の面会が可能だったが、7月6・7日に市内でコロナ感染者が確認されたため、7日からまた面会禁止としている。オムツ類やその他の受け渡しは玄関で職員が行っている。

職員の対応について

職員は変わらず基本の感染対策はきちんと行い、体調不良の職員は勤務しないということを徹底している。県外への移動も基本自粛しているが、事情があって出かけた場合や県外者と接触する場合には届け出を行い、5～10日間程度の出勤停止と行動記録、健康観察を行っている。また、このところの感染者の増加に伴い、出勤停止の後PCR検査で陰性を確認してから出勤することとなった。その他、家族が県外移動した場合や帰省された場合などについての対策も取ることとなった。

コロナワクチン接種について

利用者様と職員は予定通り終了した。

利用者様の状況について

特に体調を崩されている方はいない。出かけるのが好きな方が出られないことに対してストレスを感じておられる様子はあるが、気分転換できるよう考えながら活動をしていただいている。

ご本人の病状の悪化や変化のある方は細かく観察して医師に報告等を行っている。

## 2、行事・活動について

### 最近の活動

7月7日 七夕会

笹の飾りを作ったり、短冊に願いを書いたりして笹飾りをし、“七夕ゼリー”を作って歌を歌ったり、七夕の思い出について語っていただいたりして和やかに過ごされた。例年行っていたそうめん流しは今年も行わなかった。

7月27日 奈良漬け作り

昨年出来なかった奈良漬けを作ることにした。今年もバザーが出来ないことが予想されるので、約30kgを漬けた。久しぶりに行った大きな作業で、利用者様も張り切って参加された。

その他、家事作業全般、おやつ作り、縫い物、壁画作り（折り紙・ちぎり絵など）、歌やしりとり、塗り絵等のレク、戸外（庭）散歩、ドライブ、ハンドロール作り、スカットボール等々

## 3、施設の修繕等について

寿生の家も20年が経過し、修繕箇所が多くみられるようになってきている。今年度、危険と思われる箇所を重点的に修繕してもらえることになった。工事中は利用者様にもご不便をおかけすることもあると思う。また、業務にも支障が出る期間もあると思うが、事故がなく、スムーズに修繕が進むよう協力していきたいと思う。

## 4、令和3年度の運営推進会議について

今後も感染状況に応じて書面会議等を行っていききたいと思う。ご協力をお願いしたい。

## 5、意見交換

<あ>昨年度から引き続きコロナウイルス感染対策をしっかりと行っておられる様子が良く分かった。利用者様も職員の皆様も制限がある中での生活にストレスを抱えておられることと察する。そのような状況の中でも季節の物を作るなどの活動を取り入れておられ、利用者様の気分転換や楽しみになっているのだと感じた。暑い日が続くが熱中症対策にも苦慮されると思うが利用者様も職員の皆様も身体に気を付けて過ごしてほしい。(FAXにて)

<管>ありがたい言葉をいただいたと思う。

<家>とても良くしてもらっている。この度の水害時などを考えると、大船に乗った様に安心していただいている。(TELにて)

<管>ご家族に安心していただけることはこちらとしても嬉しい。

<市>行事について、コロナ禍でもとても工夫されていると思う。修繕についてあったが、修繕中、利用者様の生活に影響はないか？(TELにて)

<管>もっとも大きな修繕となると台所だが、食事は配達されて届くので、配膳するスペースを確保すれば大丈夫かと思う。他は雨漏りや居室のクロスなどもあるが、できるだけ生活に支障のない様にできるようにしたいと思っている。

<市>7月の水害の際はどのように対応されたか？(TELにて)

<管>施設は高台にあるので、水に浸かるようなところはないが、周囲に崩れたりしている所がないかなど注意して点検した。

<事>入退所の報告でショートステイを利用されている。GHは空床利用なので定期的な利用は出来ないが、今回はタイミングよく利用できたのだと思う。在宅で療養されている方、またご家族にはとても大事な社会資源だと思う。

また、介護職員が不足すると聞いている。各機関への募集はもちろんだが、待遇面での改善も行って、多方面（知人紹介等）への働きかけも行っていきたい。

<管>今回のショートステイはたまたま病気入院のための空床があったところへ、デイを利用されている方が病院を退院された後自宅での生活を再開されたが、入院中に認知症が進行してしまい、家族の介護が困難というSOSを受けた。本当に“タイミング”だと思う。

介護職の不足については、様々なルートで確保に努めたいと思っている。

<次>新型コロナウイルス感染対策について、法人の全職員が感染対策に努めているお陰で事業

所での感染確認もなく、利用者様も安心して過ごしていただいている。職員の努力に感謝したい。引き続きよろしくお願ひしたい。

行事について、寿生の家の奈良漬は毎年好評で、昨年はコロナ禍で出来なかったが、今年が出来上りを誰もが楽しみにされていると思う。レクリエーションにも制限がかかる中、職員さんお創意工夫で利用者様に楽しんでいただいております、職員の皆さんの努力に感謝している。

また、一つずつではあるが、修繕等をしていきながら、利用者様に安心して過ごしていただける環境にしていきたいと思う。

<管>引き続き頑張っていきたいと思う。修繕に関しては、利用者様の安全や心地よい環境が保てるように少しずつでもお願ひしたい。

<有>いつも感じていることだが、頭が下がる思いがある。“いつも通り”を継続することは大変だと思ひ、大事なことだと感じる。今後も頑張っていきたい。

待機者は多いが、一人、入居申し込みをしたいと思ひている。(TELにて)

<管>出来る事をきちんと継続していきたいと思う。昨年出来なかった奈良漬を今年漬けた。利用者様はとても張り切ってされた。

待機者は多いので、急ぐ方は難しいがそうでない方は、今後のタイミング次第だと思ひ。

<リ>今後、台所などの修繕が始まるが、できるだけ利用者様の生活に支障のない様に進むと良いと思ひ。また、コロナ禍で気軽に掛けられないので、利用者様を気の毒に思ひ。

<管>色々な面で大変だと思ひ。利用者様の気分転換ができると良いと思ひ。

<リ>2年ぶりに奈良漬を漬けて、利用者様にも活気が感じられた。食べるのを楽しみにされている。

<管>今後も利用者様の穏やかな生活を守りながら、きちんと運営を行っていきたいと思ひ。

以上